

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、最終年度を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成29年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業、学習ボランティアの派遣等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成29年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的には年度計画を着実に実施していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・全学横断型教育プログラム関連科目として、新たに4科目を開講するとともに、スキルアップゼミを実施するなど、教養教育の充実を図っている。

(2) 専門教育の充実

- ・人間社会学部において、公認心理師受験資格及び幼稚園教諭養成課程の再課程認定に係るカリキュラム改変を行うとともに、看護学部において、新カリキュラム策定部会を立ち上げるなど、専門教育の充実を図っている。
- ・人間社会学研究科において、公認心理師受験資格に係るカリキュラム改変を行うとともに、子ども教育専攻を開設するなど、大学院教育の充実を図っている。
- ・実践型インターンシップとして他大学と連携プログラムを実施するとともに、「ケアリング・アイランド九州沖縄大学コンソーシアム」を構成する9大学間で単位互換などを実施し、大学間の相互連携による教育の充実を図っている。

(3) 教育効果を検証するシステムの構築

- ・看護師、保健師、精神保健福祉士等の各種国家試験合格率が、高水準を維持していることを評価する。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・授業参観ウィークの導入や授業自己評価・対応プランの作成、ドイツにおける専門職養成教育を学ぶブラッシュアップセミナーの開催など、ファカルティ・ディベロップメントの推進に努めている。

(5) 優秀な学生の確保

- ・オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加、高校訪問等、入試広報活動に積極的に取り組み、入試辞退率が低くなっている。

(6) 学生支援の充実

- ・系統的キャリア形成支援講座や段階的インターンシップ・プログラムなど、きめ細かなキャリア形成支援に努めるとともに、GPA制度を活用した個別の学習支援を行っている。
- ・経済的理由により修学を継続することが困難な学生に対し、福岡県立大学特別奨学金による支援を行った。
- ・学内施設を改修し、新たに男子学生寮を整備した。

(7) 学習環境の充実

- ・図書館セミナーや学生選書ツアーを開催するなど、学生が利用しやすい環境づくりを進め、ラーニングコモンズ利用者数や開館延長時間内の利用者数が目標を上回った。

(8) 人間社会学部の改革

- ・保健福祉情報教育プログラム及びキャリア形成支援プログラムについて卒論に至るカリキュラムを作成するとともに、保健福祉情報教育プログラムのゼミを

開設するなど、全学横断型教育プログラムの充実を図った。

(9) 両学部連携の大学院博士課程の新設

- ・改革推進会議で検討を進めているが、博士課程構築の方向性について結論に至っていない。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の応募率及び獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・協定締結校との文化・学術交流事業や短期研修プログラム（派遣）の実施など、国際交流を推進するとともに、受入留学生数が目標を上回った。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、サポーター派遣人数や登校開始率が過去最高を達成するなど、不登校・ひきこもり対策を積極的に行うとともに、福岡県不登校児童生徒復帰支援事業を実施したことを評価する。
- ・地域教育支援プロジェクト「土曜の風」を実施し、地域の補充学習の場に学生を学習ボランティアとして派遣した回数が計画を大きく上回るなど、学生の社会貢献・ボランティア活動を積極的に支援していることを評価する。
- ・九州北部豪雨災害に係る募金活動を実施した。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・九州北部豪雨発生時に危機管理マニュアルに基づき適切な対応を行うとともに、

学内の防犯カメラを増設するなど、安全対策の強化を図った。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得に努めている。
- ・週休日の振替を徹底するなど、時間外勤務が前年度より縮減された。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、プロモーションビデオ（国際版）を制作するなど、広報活動の充実を図った。